

自然と共生する美しい郷

石川町第5次総合計画

中谷地区まちづくり委員会報告書



谷沢地区 古内のさくら

平成20年3月
中谷地区まちづくり委員会

中谷地区まちづくり委員会報告書

中谷地区まちづくり委員会は、平成19年7月30日に各行政区長・副区長・事務局による会議を開催し、石川町第5次総合計画、中谷地区まちづくり委員会の趣旨説明を行い委員の選出についてお願いしたところであります。

平成19年9月19日に第1回の委員会を開催し、計画書策定のため様々な議論を重ねてきました。

計画書策定までに委員会7回（内現地調査1回）及び事務局会議5回の会議を開催してきました。会議では、現在の地域事業の現状や地域に存在する神社、仏閣、史跡及び伝統芸能等について相互の理解を図り、将来あるべき中谷地区のまちづくり計画を策定しました。

中谷地区は、石川町の北東部に位置し本宮区、双里区、形見区、谷沢区、坂路区、谷地区、中田区の7行政区からなり、東は古殿町、北は、平田村に隣接しております。

地区内の本宮地区から谷地地区に至るまで重要幹線道路である主要地方道いわき・石川線が

東西に走り、いわき市と中通りを結ぶ交通の要所となっております。

地区面積は、26.5km²うち農地が4.7km²、山林が18.0km²、その他3.8km²となっており、農地の占める割合が17.7%と年々遊休農地が多くなってきております。山林は、67.9%を占め谷間は、勾配が急峻な地形をなしており、中田地区は、やや穏やかな勾配となって里山の趣を残しております。

歴史的には、塩の道として古くから人々の往来があり坂路地区は宿場町として栄え、当時は地域の政治、経済の中心的役割を担っておりました。また、地区内を流下する今出川、飛鳥川の由来も京都府にある川と同じ河川名であることから古くから人々が生活していたことがうかがえます。

中谷地区まちづくり委員会では、地域特性や歴史的背景を重視した、地域の現状から、将来に向かって地域が一体となり、活力ある計画について議論を重ねながら策定しましたので報告いたします。

石 川 町 長 加 納 武 夫 様

平成20年3月5日

中谷地区まちづくり委員会
委 員 長 水 野 勝 男

目 次

I. 中谷地区まちづくり計画	P2
1. 地区の概要・特性	
2. 地区の現状と課題	
3. 事業計画（構想）	
II. 中谷地区行動プラン	P 4
1. 行動プラン概要	
2. アクションプラン	
III. 中谷地区まちづくり委員会経過報告	P 7
1. 中谷地区まちづくり委員会経過報告	
2. 第3回中谷地区まちづくり委員会 （現地調査）	
IV. 中谷地区まちづくりマップ	P 14
V. 中谷地区まちづくり委員名簿	P 15

I. 中谷地区のまちづくり計画

1. 地域の概要・特性

中谷地区は石川町の東方に位置し、清らかな河川などに恵まれ、谷間に田園が広がる「谷間地区」と中山間地に属する「中田地区」からなっており、谷間地区は、古くから「旧御齊所街道」が地域の中心部を東から西に向かって走り、いわきから会津地方を経て栃木県日光市への「塩の道」として古くから政治・経済・文化の流通経路として栄えた地域であります。現在も港湾からの物流道路として重要な働きをしております。

面積は、26,48km²と町の5分の1を占め町内で一番広い地域を形成しており、人口は平成13年で3,422人から平成18年では、3,408人とほぼ横ばいですが、若い世代の流出等により少子高齢化の傾向にあります。
また、核家族化が進む中で高齢者世帯が年々多くなっています。

近年の商業施設の郊外化にともない商業施設の設置や住宅団地の造成などによって、人口減少が緩和されてる地域もあります。

地域の中心を流れる今出川の桜堤は、開花時期になると、多くの観光客が訪れる地区であります。

2. 地区の現状と課題

〔現 状〕

少子高齢化の影響で少しずつ人口の減少を示しており、このことは、農業後継者不足につながり山間部の農地の荒廃も目立つようになってきました。また森林資源についても荒廃が進行しており動植物に対する影響が現れてきております。

さらに、地域の伝統・文化・行事等に対しても影響を及ぼし継続していくことが困難になっているのが現状であります。

〔課 題〕

恵まれた自然環境の中で、自然、歴史、文化等の地域資源を有効に活用して、世代間を超えたコミュニティー活動を積極的に展開し、様々な事業活動をとおして地域を再発見するとともに、地域活性化に向けた取り組みが求められています。

このため、

- ・ 地域のひとが誰でも参加できる地域づくり
- ・ 伝統行事を承継するリーダーの養成
- ・ 自然環境を次世代に引き継ぐ体制づくり
- ・ 荒廃農地の有効活用
- ・ 神社・仏閣及び伝統芸能の伝承・保存
- ・ 学校の統廃合に伴う施設の有効活用
- ・ 7地域事業の連携と促進

等をとおして地域をあげた活動を展開することによって活性化を図ることが必要であります。

3. 事業計画（構想）

[計 画] 清流の保全
[目 的] 人々の生活を育んできた、今出川・飛鳥川の地域に果たしてきた役割について学び、自然環境がもたらす動植物の生態系などを知りながら地域の潤いを後世により良い姿で引き継ぐ取り組みを図ります。
[取り組み]

- ・ 河川環境の保全
- ・ ホタルの里づくり
- ・ ハッチョウトンボの里づくり
- ・ 分水嶺の保存

[計 画] 住みよい環境づくり
[目 的] 花木をとおした地域づくりを進めるため、住民総参加の意識の高揚を図る。また、遊休農地の活用を図るため、そばや雑穀等の栽培生産を呼びかけ「食」による地域づくりをめざします。
[取り組み]

- ・ 桜の里づくり
- ・ 花のある里づくり
- ・ そばの里づくり

[計 画] みどり豊かな里山づくり
[目 的] 地域の面積の大半をしめる森林に、多くの人々が親しみを持てるような環境整備を図り森林との共存を考え、併せて間伐材の利用の推進に務めます。
[取り組み]

- ・ 背戸山づくり
- ・ 二本ブナ保全
- ・ 間伐材の有効活用

[計 画] 伝統・芸能の伝承
[目 的] 長年の生活の中から生まれた伝統、芸能や生活文化の伝承を再認識し、先人が残した歴史を学びながら、伝統、芸能、文化の伝承を通し地域づくりに務めます。
[取り組み]

- ・ 秋季祭礼の伝承
- ・ 伝統・芸能の伝承
- ・ リーダー及び後継者の養成

上記の計画を進めることによって、「自然と共生する美しい郷」づくりを目指します。

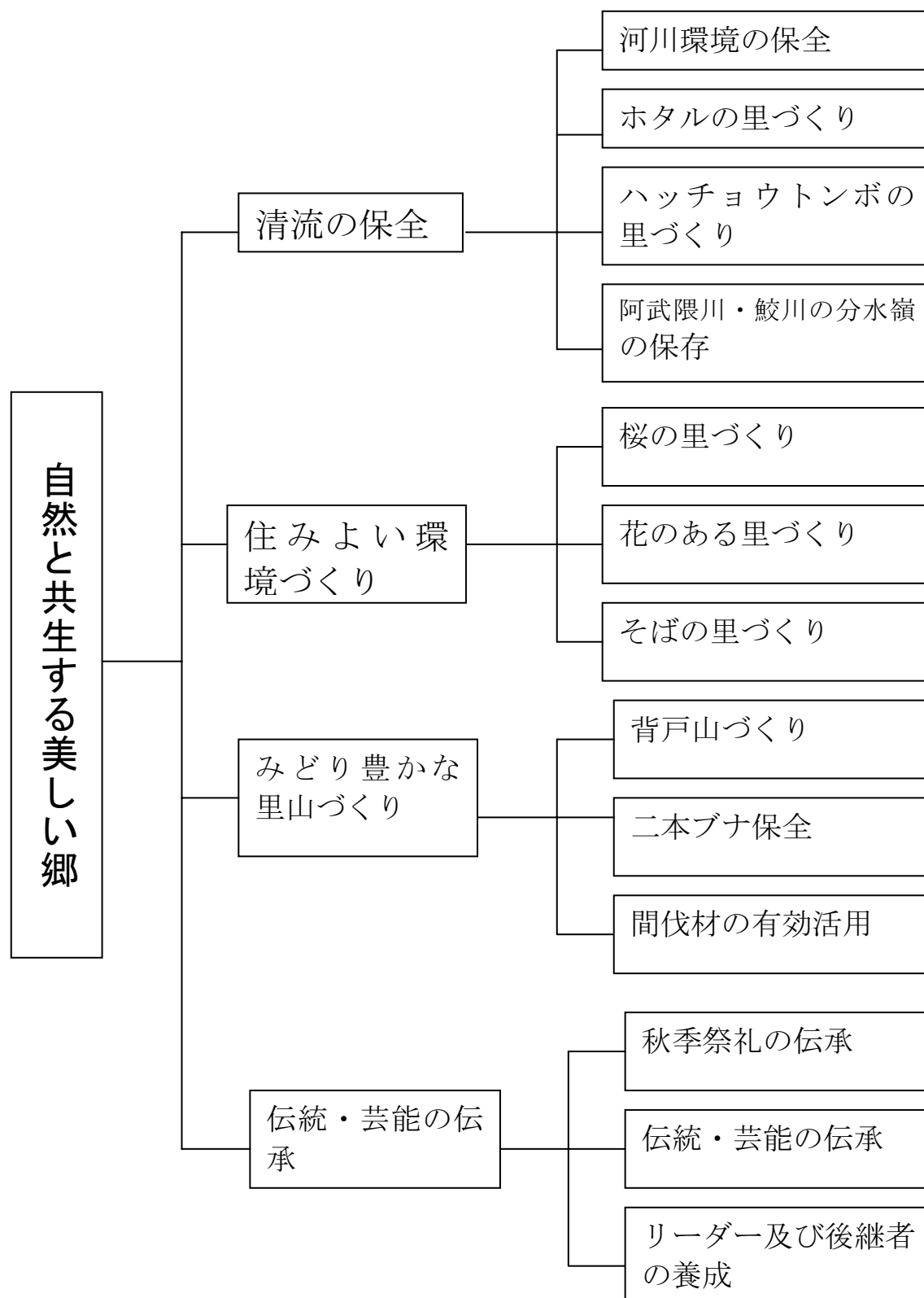
Ⅱ. 中谷地区行動プラン

1. 行動プラン概要

将来像

サブテーマ

アクションプラン



2. アクションプラン

NO.1

○行動プラン1 河川環境の保全

地区内を流れている今出川、飛鳥川の環境保全をはかるため、環境整備に努めます。

- ・ 河川の草刈
- ・ ごみ拾い
- ・ 河川堤防を活用した遊歩道の整備
- ・ 分水嶺の案内看板の設置

○行動プラン2 ホタルの里づくり

夏の夜、ホタルが飛び交う環境づくりをめざします。

- ・ ホタルの鑑賞会
- ・ ホタルの飼育
- ・ カワニナの飼育

○行動プラン3 ハッチョウトンボの里づくり

大変貴重なハッチョウトンボの成育に必要な環境づくりをめざします。

- ・ 生育場所の環境整備
- ・ 生育場所の保護

○行動プラン4 桜の里づくり

地区内にある桜をいかした地域づくりを行い観光客の集客に努め、地域の活性化を図ります。

- ・ イベントの開催
- ・ 桜の保全及び環境整備

○行動プラン5 花のある里づくり

地区内を流れている飛鳥川堤に花木を植えて花の里づくりを目指します。

- ・ 植える場所の調査
- ・ 花木の選定
- ・ 花木の植え込み

○行動プラン6 そばの里づくり

遊休農地を利用したそばや五穀類の栽培を行い「日本の美食」の見直しを進めます。

- ・ そばの栽培
- ・ そば祭りの開催

○行動プラン7 背戸山の里づくり

形見地区が取り組んでいる森林整備事業を継続して、背戸山の里づくりをめざします。

- ・ 事業推進により森林環境の整備を図ります。
- ・ イベントを開催して人が森林に親しむ環境づくりを図ります。
- ・ 間伐材の有効利用に努めます。

○行動プラン8 二本ブナ保全

中谷地区のシンボルである二本ブナの環境整備を継続して、保全に努めます。

- ・ イベントの開催
- ・ 森林保全に努め山に親しむ環境づくりに務めます。
- ・ 広葉樹の植林をとおして森林の保全に努めます。

○行動プラン9 秋季祭礼の伝承

秋季祭礼の伝承に努め、世代を超えた地域づくりをめざします。

- ・ 祭礼の円滑な執行に努めます。
- ・ 地域間交流を推進して賑わいのある祭礼に努めます。
- ・ 世代間の交流をはかり活性化に努めます。

○行動プラン10 伝統・芸能の伝承

地域で支えている伝統芸能の伝承に努め、後世に貴重な遺産として承継します。

- ・ 指導者の養成をはかり伝承に努めます。
- ・ 後継者の養成をはかり伝承に努めます。
- ・ 世代間を超えた伝承に努めます。

Ⅲ. 中谷地区まちづくり委員会経過報告

1. 中谷地区まちづくり委員会活動経過報告

(1) 中谷地区まちづくり委員会結成に向けた準備会議

日 時 平成19年7月30日(月)
場 所 中谷地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区行政区長、事務局員
協議内容

- ① 中谷地区まちづくり計画について
- ② 中谷地区まちづくり委員の選任について
- ③ 中谷地区まちづくり委員会と行政区との係わりについて
- ④ 各地区における地域づくりの活動状況について
- ⑤ その他

企画調整課事務局より、まちづくり計画の基本的な考えについて提起を受ける。

調査表をもとに各行政区内における地域づくりの取り組みの調査を要請

(2) 中谷地区まちづくり委員会第1回事務局会議

日 時 平成19年9月19日(水)
場 所 本庁舎第2会議室
出 席 事務局員
協議内容 第1回中谷地区まちづくり委員会運営について

(3) 中谷地区まちづくり委員会第1回委員会

日 時 平成19年9月20日(木)
場 所 中谷地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員
協議内容

- ① 石川町第5次総合計画・地区まちづくり計画について
- ② 中谷地区まちづくり委員会役員選任について
- ③ 中谷地区まちづくり計画について
- ④ 各地区における地域づくりの活動状況について
- ⑤ その他

企画調整課事務局より、まちづくり計画の基本的な考えについて提起を受ける。

水野会長、藤沢副会長を選出

中谷地区まちづくり計画の基本的な考え方について事務局より提起
まちづくり計画の資料とするため、地域における取り組みについて
調査を要請

(4) 中谷地区まちづくり委員会第2回事務局会議

日 時 平成19年9月19日(水)
場 所 本庁舎第2会議室
出 席 事務局員
協議内容 第2回中谷地区まちづくり委員会運営について

(5) 中谷地区まちづくり委員会第2回委員会

日 時 平成19年10月31日(木)
場 所 中谷地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員
協議内容

- ① 中谷地区まちづくり委員会役員の追加について
- ② 各地区における各種行事等の実施状況について
- ③ 次回の協議内容について協議
- ④ その他

役員に顧問として中谷公民館長の飯島さんを追加。

調査表を基に各地区の実施状況の報告を受ける。

現地調査の要望が出されたので11月18日(日)午後から現地調査を行うことが承認された。

(6) 中谷地区まちづくり委員会第3回委員会(現地視察)

日 時 平成19年11月18日(日)午後1時30分公民館前集合
場 所 形見里山づくりほか現地視察
出 席 中谷地区まちづくり委員、行政区長、中田地区地域づくり委員、事務局員

現地視察箇所

- ① 形見地区 大日山背戸山づくり
- ② 谷沢地区 古内の桜
- ③ 谷沢地区 蛍の里づくり
- ④ 中田地区 二本ブナ
- ⑤ 中田地区 水車小屋
- ⑥ 中田地区 医者清水

の現地調査をおこなった。

懇親会

現地調査後中谷農村婦人の家にて懇親会

(7) 中谷地区まちづくり委員会第3回事務局会議

日 時 平成19年11月26日(水)
場 所 本庁舎第2会議室
出 席 事務局員
協議内容 第4回中谷地区まちづくり委員会運営について

(8) 中谷地区まちづくり委員会第4回委員会

日 時 平成19年11月28日(木)
場 所 中谷地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員
協議内容

- ① 各地区における地域づくりの取り組みについて
- ② 地区の地域づくり及び現地視察の結果を踏まえた中谷地区まちづくり計画について
- ③ 中谷地区各種取り組みのマップづくりについて
- ④ その他

事務局が前回の現地視察の結果について報告

調査表を基に各地区の取り組みにおける課題及び将来のあり方について報告を受ける。

委員長から中谷地区まちづくり計画として蛭の里づくりについて提案がされる。

(9) 中谷地区まちづくり委員会第5回事務局会議

日 時 平成19年12月18日(水)
場 所 本庁舎第2会議室

10

出 席 事務局員
協議内容 第4回中谷地区まちづくり委員会運営について

(10) 中谷地区まちづくり委員会第5回委員会

日 時 平成19年12月18日(木)
場 所 中谷地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員

協議内容

① 中谷地区における地域づくりの取り組みについて

中谷地区まちづくり計画について蛭の里づくりについて全体で取り組むことに無理がある。

各地区での取り組みを大切にして、まちづくり委員会でバックアップできる計画が望ましい等の意見が出された。

(11) 中谷地区まちづくり委員会第5回事務局会議

日 時 平成20年1月21日(水)
場 所 本庁舎第2会議室

出 席 事務局員

協議内容 第6回中谷地区まちづくり委員会運営について

(12) 中谷地区まちづくり委員会第6回委員会

日 時 平成20年1月23日(木)
場 所 中谷地区地区公民館 視聴覚室
出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員

協議内容

① 中谷地区まちづくり計画について

事務局で素案を提起して議論を行い大筋で確認が得られた。

次回は、事務局で整理を計り中谷地区まちづくり計画としてまとめることが承認された。

(13) 中谷地区まちづくり委員会第6回事務局会議

日 時 平成20年2月13日(水)
場 所 本庁舎第2会議室

出 席 事務局員

協議内容 第7回中谷地区まちづくり委員会運営について

(14) 中谷地区まちづくり委員会第7回委員会

日 時 平成20年2月29日(金)

場 所 中谷農村婦人の家 第2研修室

出 席 中谷地区まちづくり委員、事務局員

協議内容

① 中谷地区まちづくり計画(案)について

協議のなかで中谷地区まちづくり計画として3月5日町に答申することが承認されました。

2. 第3回中谷地区まちづくり委員会（現地調査）

11月18日の日曜日の午後、中谷地区まちづくり委員会参加者16名で中谷地区内において各自に取り組みを行っている地域づくりの現地調査を行ないました。

（1）背戸山づくり

大日山における形見地区の背戸山づくりを最初に形見地区の中谷地区まちづくり委員であります有賀さんより現地において活動状況について説明をいただきました。

〔事業概要〕

町を通して県の森林整備事業を導入、大日山を核とした遊歩道の整備及び森林環境整備を5ヵ年間の事業として取り組んでいる状況について報告頂きました。県道から大日山山頂までの遊歩道の整備と間伐により眺望景観の確保をはかることによって、学習の場の提供及び地域住民の交流の場としての活用を図る。



（2）古内の桜

桜の大木の保存と周りの環境整備の取り組み経過について、中谷地区まちづくり委員会会長の水野さんより説明を受けました。

計画は、桜の周りの立木伐採と低木の植樹を行うなど桜を核とした環境整備を地域をあげて取り組むもので、数年の計画目標をもっております。



(3) 蛍の里づくり構想

砂防工事により整備された谷沢字後作地内明神川の環境整備を図り蛍の里を造る箇所について、視察を行い構想について、説明を受けました。
構想は、蛍の育成を図る学習と河川環境を整備して、蛍の餌となるカワニナの養殖を行い蛍の生態系を学習して蛍が飛び交う里づくりをめざす。



(4) 二本ブナ

石川町で高峰にあたる二本ブナの環境保全に中田地区をあげて、20数年も取り組んでおり、近年は、形見地区と同じく森林環境税の導入を図り、さらに整備を進めております。山頂からの眺望は、那須連峰、会津磐梯、山安達太良山、近くは福島空港、蓬田岳と180度の大パノラマは壮大である。



(5) 中田の水車

大竹幸男さんが地域活性化のため、自前で昔懐かしい水車小屋を築造して、二本ブナの環境整備と併せて築造したものであります。



(6) 医者清水

中田字石ノ森地内に湧水している清水で昔からこの清水を飲むと病気が治ると言われており地元では、医者いらずの清水として親しまれております。



中谷地区まじりマップ



NO	区分	地名	住所	所在
1	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
2	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
3	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
4	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
5	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
6	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
7	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
8	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
9	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
10	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
11	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
12	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
13	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
14	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
15	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
16	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
17	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
18	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
19	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
20	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
21	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
22	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
23	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
24	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
25	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
26	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
27	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
28	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
29	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
30	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
31	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
32	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
33	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
34	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
35	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
36	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
37	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
38	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
39	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区
40	中谷地区	中谷地区	中谷地区	中谷地区

V. 中谷地区まちづくり委員会名簿

No	役職	行政区	氏 名
1	顧 問	形 見	飯島 裕
2	会 長	谷 沢	水野勝男
3	副会長	双 里	藤沢靖彦
4	委 員	本 宮	緑川重一
5	委 員		西牧雅夫
6	委 員	双 里	根本 忠
7	委 員	形 見	有賀正泰
8	委 員		有賀直明
9	委 員		根本秀行
10	委 員	谷 沢	矢吹信彦
11	委 員		久野恒雄
12	委 員	坂 路	石井康夫
13	委 員		小針重一
14	委 員	谷 地	小湊寿一
15	委 員		小湊 登
16	委 員	中 田	塩田正幸
17	委 員		大野芳治
18	事務局		近内 康
19	〃		南條武義
20	〃		永沼重和
21	〃		矢吹智之